



のびどめ

学校だより 4月号 本校ホームページ
令和7年4月7日
東村山市立野火止小学校
TEL 042 (391) 8192



思いやりの気持ちを広げる子の育成を目指して

校長 大谷 憲司

花吹雪舞う校庭の桜が進学、進級した子供たちを迎えてくれました。令和7年度は新たに74名、3学級の新1年生を迎え、全校児童は358名、計13学級となり、特別支援教室けやきも併設されスタートします。

教職員にも何名かの異動がありました。校長は本校4年目となる私こと大谷憲司が引き続き務めます。微力ながら精一杯野火止小学校の学校経営に携わってまいりますので、皆様、何卒よろしく願い申し上げます。

教育目標は今年度も次の4つです。

○考える子 ◎思いやりのある子 ○がんばる子 ○明るい子

重点目標は昨年度に引き続き「思いやりのある子」とします。

昨年度までの2年間に渡り、本校では東京都教育委員会人権尊重教育推進校の指定を受け、人権教育の研究を進めてきました。その成果は令和7年1月23日に研究発表会を行い、都内外に研究の成果を広めることができました。ハンセン病、外国人、障害者、高齢者といった個別の人権課題の学習を行った学年では、対象となる人々との交流や課題を調べる学習を行い、そのことから自分たちができることを考えてポスターや作品など様々な方法で豊かに表現することができました。また、これまで本校で受け継がれている「きれいなことばときれいなところ」運動をはじめ、オレンジ班活動、人権の花、はるかのひまわり絆プロジェクト、ボッチャの体験など、人権意識の向上に資する日常的な活動の充実も進みました。今年度はこうした成果を踏まえ、さらに思いやりの気持ちなどの人権意識を周りの人や社会にすすんで「広げる」ことができる子の育成を図ってまいります。そして、昨年度取り組んだ子供の権利についての学習を始め新しい人権教育の実践にも挑戦していきます。特に最近深刻になっているSNS上の誹謗中傷等のインターネットによる人権侵害など、私たちの大切な命に関わる重要な課題については、情報を読み解く力の育成もあわせて指導の充実を図っていきます。

さらに、本校の教育を日頃から支えてくださっているPTA野火止会の皆様、学校運営協議会の皆様、地域の皆様との連携も大変重要です。今年度は新たに「学校支援本部（仮称）」を設置し、コーディネーターの方を中心に学校教育を支援して下さる組織を立ち上げます。これまでもご支援をいただいている学校行事や校外学習、体験的な学習への支援者派遣を中心に、さらに学校教育に関わっていただける場を広げ、より多くのご支援をいただく体制をつくっていきます。また、学校運営協議会の機能もより一層充実させます。今年度は学校運営協議会の回数を年間6回に増やし、来年度の発足が市で検討されているコミュニティスクールの実現に向けた協議会の活動を充実させます。もちろん、これまで同様に今年度もあいさつ運動、植栽活動等への地域の皆様のご支援、避難所運営連絡会の皆様と連携も充実させていきます。

今年度も学校を取り巻く関係者すべての皆様のご支援をいただきながら野火止小学校の子供たちの成長を促す教育活動を行ってまいります。皆様のご理解・ご協力を何卒よろしくお願いいたします。

◎生活の中でのきれいな言葉（野火止小おすすめの言葉）

4月は「いっしょに遊ぼう」「いいよ」「やさしくしてくれてありがとう」です。

☆出会いの4月。きれいなことばで出会う友達とはきっと仲良くできますね。